

令和6年(2024年)2月7日(水)



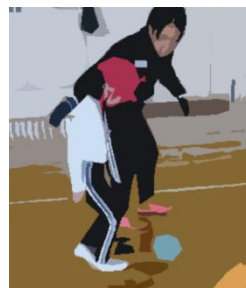
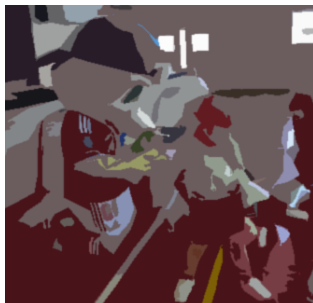
マリノスケがきたよ!



1月24日(水)、横浜Fマリノスのコーチが来校し、子どもたちにサッカーを指導してくれました。地域貢献の一環として毎年訪問して下さり、子どもたちにサッカーだけでなく、体を動かすことの楽しさを伝えてくれます。

元気よく挨拶をしたら、さっそくサッカー教室の始まりです。まずジグザグに走るコーチの後ろを走った後、今度は子どもたちが先頭でコーチが後ろを走ります。たったこれだけのことですが、子どもたちは声をあげて大はしゃぎ。ボールを使った運動では、手でパスをしたり、足でドリブルをしたりします。子ども

たちが失敗すれば励まし、成功すればものすごく誉めてくれます。そんな楽しい雰囲気練習していると、子どもたちが大好きなマリノスケが登場しました。子どもたちのテンションはマックスです!しゃがんだマリノスケにハグをもらおうと、みんな大満足。ここからはマリノスケも一緒に練習に参加します。PK合戦では、ゴールに立ちただかるマリノスケと勝負!えいっとキックするとボールはマリノスケの足元をすり抜けてゴールに吸い込まれていきます。例えゴールから外れても大丈夫。コーチたちがボールを軌道修正して元に戻し、とにかくゴールをさせてくれます。ゴールを決めると子どもたちは飛び上がって大喜び。本当に嬉しそうです。最後はみんなでたくさんのボールをゴールに入れるお片付け遊び。ここでもマリノスケが邪魔をするので、みんなで大騒ぎしながらボールを蹴り込んでいました。大人も子どもも自然と笑顔になり、気が付けば大きな声で自然に体を動かしたくなる、そんなスポーツの魅力を教えてもらったサッカー教室でした。マリノスのコーチ、そしてマリノスケ、本当にありがとうございました。





鬼がきたよ

2月2日(金)、幼稚部で節分の豆まきを行いました。前日までに豆入れを作り、「鬼は外！福は内！」と言いながら豆を投げる練習を行ったので、いつ鬼が来ても大丈夫！…のつもりでしたが…実際に鬼がやってくるとあまりの迫力に子どもたちの顔は凍り付き、逃げる、隠れるの大騒ぎ。そのうちにおともだちが鬼にさらわれてしまい、みんなパニックになりました。どうしよう？鬼に豆を投げても全然へいちゃらだよ。あの鬼強いよ。そうだ、福の神様を呼ぼう！福の神様からお札をもらおうと強くなるんだっ！「福の神様ー！福の神様ー！」子どもたちの必死の声が届いたのか、福の神に扮した國行先生が登場し、子どもたちにお札を授けてくれました。これでもう安心、さあ、鬼をやっつけに行こう！声も大きくして豆をまくよ！それ、「鬼は一外！福は一内！」鬼をやっつけろ！今度は鬼も先ほどの勢がありません。お札の効果なののでしょうか。豆が当たると鬼がみるみる弱っていきます。痛さに耐えかねて泣きじゃくる鬼。それを見かねた子どもたちは「もう悪いことをしちゃだめだよ。」と優しく声をかけ、最後は仲直りをして写真を撮りました。それにしても今年の鬼は少し手ごわかった……

